

自動圧力コントロールシステム



AVD/AVRシリーズスロットバルブ

APN30 コントローラ使用

概要

AVD/AVRスロットバルブは、別置きのAPN30コントロールユニットと組み合わせて使用します。このためバルブとモーターアセンブリのみの簡単な構造で、全体のサイズを小さくすることができます。バルブは1～6インチは1枚弁のAVDシリーズ、6～20インチは分割弁構造のAVRシリーズのウイングバルブとなります。

バルブ規格は JIS,ISO,ICF など選ぶことができます。

APN30 特徴

- 省スペースで取り付け自由
- RS232Cとシーケンスのどちらでも制御することができる
- プロセス中に圧力制御と開度制御を切り替えることができる
- 制御中にローカルでバルブの開、閉の割り込みができる
- デジタルPID

APN30 コントローラ



自動圧力コントロールシステム



ウイングバルブ シリーズ RS/AVR タイプ

薄型
大口徑
複数弁スロットル弁

概要

大口徑スロットルバルブ・ウイングシリーズは、大排気量プロセス用の排気系スロットリングバルブとして開発されました。大口徑ながらウイングを複数枚にすることで全開時の配管スペースを省略することができ、これにより同径のバタフライ型に比べてコンダクタンスを3倍にすることができます。全閉時にはウイング同士が重なり合うことで、最小のコンダクタンスになります。またウイングのドライブ機構はシンプルでワイヤーなどは使用せず、ガス溜りもありません。ウイングの枚数は口径によって異なりますが、排気ダクトのデッドスペースを利用した2枚ウイングや、下流側が完全フラットになるものなど、用途に合わせた選択が可能です。これにより、ウイングバルブ/ゲートバルブ/ターボ分子ポンプを変換アダプターなく重ねあわせることができるため、大幅な省スペースが実現できます。コントローラーは APN30のキャビネット型、RSシリーズのバルブ一体型があります。

特徴

- **シンプルな構造**
メンテナンス性、信頼性を重視した構造で、ガス溜りがありません
- **省スペース**
全開時のための配管が不要で、ウイングバルブ自身の厚さ(30 - 50mm)で構成できます。
- **広いダイナミックレンジ**
全閉時にウイング同士を重ねあわせることにより、最小コンダクタンスを実現します。
- **均一な排気効果**
シンメトリックなウイングの動きは、全域にわたり均一な排気効果が得られます
- **設置に便利な2種類のタイプ**
RSタイプ;コントローラー一体型
AVRタイプ;省スペースのコントローラ分離型

APN30 コントロールユニット

